

介護ホームヘルパーの資格

問 ホームヘルパー養成校の偽装証明書事件があったが。

答 調査の結果該当者は無し。

きめ細やかにサポート

問 不登校対策と、その取り組みの状況は。

答 教育相談、適応指導教室、家族訪問、保護者への助言と心の相談等を行っている。

広瀬 寛人

〔無所属〕

財投資金繰り上げ償還の対応は

問 本年より3年間に限り地方自治体が財政投融资として借りている高金利のものを補償金無しに償還が認められる見通しとなったが市の対応。

答 上水道と簡易水道事業では、年利5%以上が対象でそれぞれ1億7百万円、2億5千9百万円、さらに下水道事業は6%以上が対象で7億4千百万円が繰り上げ償還対象となっており公営企業の経営

改善となることから積極的に検討し対応したい。

公営住宅の優先入居への取り組みは

問 現在は、募集戸数を上回る応募があった場合には公開抽選による入居者決定を行っているが、高齢者・心身障害者・車いす使用者など一定の条件を設けて優先入居が可能な制度へ取り組む考えはあるか。



市内公営住宅

答 高齢者・障害者専用の住宅がないため、優先入居条件が明文化していないが、バリアフリーに配慮した一部の住宅については、入居者募集要領により、高齢者世帯用として優先的に対応している。社会的弱者（障害者等）といわ

れる方に配慮する必要性は、重要な課題であると考えており、今後、福祉分野と連携し、検討をして行く。

一般競争入札への取り組みに総合評価落札方式の検討を

問 道内の入札制度では一般競争入札を実施・検討している自治体が大半で時代の潮流といえる。公共工事には、地域経済や雇用に大きな影響をもたらすので、透明性の確保とともに地域貢献度や環境に配慮した工法や工事など、落札価格以外の要素を盛り込んだ判断基準で行う総合評価落札方式の検討が重要と考えるが、その見解は。

答 入札事務に時間を要することから執行体制を考慮しながら検討していく必要があると考えている。

東海林 剛

〔民主クラブ〕

広域連合を選択した経過

問 ①4町村が広域連合を強く指向した理由は。②5市町

村はひとつであるという認識は。③広域連合の方向性は。

答 ①各町村とも現時点での市町村合併に対しては、中心地域への集中による格差の拡大や、特色ある施策が継続困難になるとともに、地域のアイデンティティの希薄化への懸念もあることなどを各町村それぞれ総合的に判断し、広域連合を指向したものと考えている。②市町村長で構成する委員会においては広域連合に取り組むことによって「住民の合併への機運が高まる事もある」「五つのまちの最終目標はひとつになるということ」などの意見が出され「将来、富良野圏域5市町村はひとつである」という共通認識に立ったものと判断している。③「自治のかたち」検討プロジェクトチームで示された四つの形から広域連合を選択し可能な事務として一部事務組合の他に国民健康保険、介護保険、火葬場など多様な事務を選択した。

構成市町村の役割分担と経費の支弁方法は

問 分担金の負担割合の基本的な考え方、広域連合設立後

の職員派遣について伺う。

答 共通の経費に係る構成市町村均等割の導入をはじめ負担割合の見直しについて提起し、各町村長に了承を得ている。構成市町村が応分かつ適正な負担となるよう協議を継続して行く。職員派遣については、各市町村が共に担うことを各町村長に了承を得ている。

今後の本市の取り組み姿勢

問 市町村長で構成する委員会は方針を決め方向付けをする司令塔である。しかし、市町村の意識の隔たりは大きい。今後における本市の姿勢について伺いたい。

答 昨年の広域連合選択時とは状況の変化も見られるので総合的に判断して行きたい。



富良野広域連合準備事務局